

令和7年3月定例教育委員会会議録

令和7年2月25日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市商工会館2階3号室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、小林 敏宏、浅尾 景子

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
文化財保護・市史編さん担当副参事	吉野 健
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

13時25分 3月定例教育委員会開会

教育長が、令和7年3月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に大石委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

2月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、報告第3-8号及び議案第12号から議案第14号は、人事案件のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第3-1号）寄附申出について

教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして令和7年1月11日から令和7年2月10日までの期間にふるさと納税が計1件、金額にして1万5千円の寄附申出を頂いたとの報告があった。

また、学校給食のためとして匿名の方から現金10万円を、学校の教育振興のためとして株式会社グルーヴインザグルーヴから現金10万円を、子どもたちの安全のためとしてこくみん共済 COOP<全労済>熊谷支所から15万1,600円相当の横断旗400個、交通安全マップ8枚及び交通安全マップ解説DVD4枚を寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第 1（報告第 3－2 号）3 月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、2 月 26 日から 3 月 18 日まで市議会 3 月定例会が開催され、3 月 31 日には学校教職員退職者感謝状贈呈式と 3 月臨時教育委員会を、4 月 1 日には学校教職員辞令伝達式と 4 月定例教育委員会をそれぞれ開催するとの報告があった。

日程第 1（報告第 3－3 号）3 月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について

教育総務課長から、3 月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要についての説明があった。

初めに、令和 6 年度一般会計補正予算の歳出について、小・中学校校舎大規模改造事業は令和 7 年度事業を前倒しして計上するもので、熊谷東小学校、佐谷田小学校及び荒川中学校の校舎について外壁改修や屋上防水工事等の大規模改修工事を行うもの、小学校トイレ整備事業についても令和 7 年度事業を前倒しして計上するもので、別府小学校及び吉見小学校の校舎トイレについて洋式化等改修工事を行うものとの説明があり、令和 7 年度で計画していた全ての小中学校トイレ改修が完了するとの説明があった。

また、学校給食費負担軽減支援事業は、子育て世帯の経済的負担を軽減するために給食食材費の高騰に伴う令和 6 年度給食費改定額について、今年度に引き続き令和 7 年度も公費負担するための経費を計上するものであるとの説明があった。

次に歳入について、学校施設環境改善交付金は、小・中学校校舎大規模改造事業及び小学校トイレ整備事業への国の交付金で、熊谷教育推進寄附金は、令和 6 年 10 月から 12 月までに受入れしたふるさと納税 19 件について歳入補正するもので、教育債は、小・中学校校舎大規模改造事業及び小学校トイレ整備事業の財源として借り入れる学校施設整備事業債を計上するものであるとの説明があった。

また、繰越明許費について、小・中学校トイレ整備事業は歳出の小・中学校校舎大規模改造事業及び小学校トイレ整備事業について、国の補助金の追加交付決定に対応するため、翌年度事業を前倒しすることに伴い全額を繰り越しするもので、学校給食費負担軽減支援事業は、令和 6 年度の国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するもので、令和 6 年度に予算化し翌年度に全額を繰り越しして実施するものであるとの説明があった。

日程第 1（報告第 3－4 号）令和 7 年度教育関係予算主要事業について

教育総務課長から、3 月市議会定例会に提出した令和 7 年度予算主要事業一覧表の教育委員会所管分について説明があった。

初めに、令和 7 年度当初予算編成の基本方針について、令和 7 年度は新市誕生から 20 周年を迎えることからこれに関連する事業を予算編成しており、また、本市

の第2次総合振興計画後期基本計画がスタートして3年目を迎える年であり、市民皆様の参画の下、自律性が高く持続可能な魅力ある都市の実現を目指すまちづくりの指針を定めるとともに、次世代へと引き継ぐ本市の将来像を描いたもので、基本となる8つの政策を着実に推進するための予算を重点的に配分した予算編成方針としたものであるとの説明があった。

教育委員会所管の主な事業として、「「20周年記念」小中学校ラグビー普及事業」は、各学校へタグラグビー用のボール及びタグを配布し熊谷市誕生20周年の機運を高めるもので、「「20周年記念」みんなでお祝い！プレミアム給食事業」は、地場産物を使用したプレミアム給食を提供して祝賀ムードと食育を推進するもので、「新しくまなびスクール事業」は、市内全小中学校に校内教育支援センターを設置し不登校支援を行うとともに、全ての児童生徒を対象とした学習支援を行うもので、「「踊る埴輪」知名度アップ事業」は、全国的に有名な「踊る埴輪」のストラップ製作体験等を通じて本市の魅力をアピールする事業で、「みんな歩いて中山道江戸時代体験事業」は、市内の中山道に標識を貼付し実際に歩くイベントや関連講座を開催することで地域の活性化等を図る事業であるとの説明があった。

また、「公民館修繕等推進事業」は、老朽化した公民館の大規模修繕工事等を計画的に実施しているもので、令和7年度は籠原公民館の耐震・大規模改修工事設計、奈良公民館の解体・跡地整備工事設計、妻沼中央公民館の耐震化工事設計を行うもので、「展示品レプリカ作製事業」は郷土熊谷に関連する国宝・国指定重要文化財について博物館施設等で展示するための高レベルのレプリカを作成する事業で、令和7年度は山口県文書館に寄託されている熊谷直実自筆部分を含む4点の古文書のレプリカを作成するもので、「「友山・武香物語」マンガ制作事業」は、令和5年度の「直実・蓮生物語」、令和6年度の「斎藤実盛と妻沼聖天山」に引き続き第3弾として、根岸友山・武香父子の功績を親しみやすいマンガ形式で紹介する事業で、「地域会館整備事業」は、老朽化した地域公民館等の機能を引き継ぎ生涯学習・地域活動の拠点となるべき地域会館を整備するもので、令和7年度は三尻、佐谷田、大幡及び大麻生の4地域に整備するものであるとの説明があった。

日程第1（報告第3－5号）教育長職務代理者の指名について

教育総務課長から、令和7年4月1日からの教育長職務代理者について教育長が小林敏宏教育委員を指名したとの報告があった。

日程第1（報告第3－6号）公益財団法人熊谷市文化振興財団令和7年度事業計画書について

社会教育課長から、公益財団法人熊谷市文化振興財団の事業計画書及び収支予算書について説明があった。

公益目的事業では交響楽団等の育成に関する事業、芸術文化活動における参加の促進に関する事業、舞台芸術等の鑑賞機会の提供に関する事業等を、収益目的事業では施設貸館や図書館業務の受託等が主な内容であるとの説明があった。令和7年度収支予算書について、収入、支出それぞれの合計額は4億2,964万7千円、前年度比3588万2千円の増となっており、この報告書については財団の理事会及び評議会において既に議決済みであるとの説明があった。

日程第1（報告第3－7号）市史編さん室の事務所移転について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、市史編さん室の事務所移転について説明があった。

市史編さん室は、令和7年4月に現在の市立妻沼展示館から旧星宮小学校管理棟へ事務所を移転することになり、旧星宮小学校体育館を星宮体育館として運用開始することに伴う貸出の日中窓口業務のほか施設の管理等業務についても、スポーツタウン推進課の補助執行業務として市史編さん室が担うとの説明があった。

日程第2（議案第11号）市文化財の指定について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、文化財の指定について説明があった。

本議案は、令和6年6月定例教育委員会において文化財指定に向けた調査について諮問した2件の指定候補のうち1件について、去る2月4日に開催された令和6年度第3回熊谷市文化財保護審議会において審議され、文化財指定が適当として2月5日付け熊文保第11号で答申がなされたものである。

今般該当する文化財は、名称が銅造誕生釈迦仏立像、種別が有形文化財・彫刻、所在地が熊谷市永井太田1054番地の正蔵寺であるが、正蔵寺は現在無住のため、永井太田1141番地の能護寺が保管及び管理者である。

本像は、鋳銅製で、像の高さは8.92cmと非常に小さな仏像である。市内に所在する仏像の中では最古級で、制作年代については、あどけない微笑みを浮かべた丸顔の面貌表現等簡潔素朴かつ古拙な造形で奈良時代の地方小金銅仏と共通する特色が認められることから、奈良時代・8世紀頃と推定される。

像には、火の中や土の中にあった痕跡があり、いつの頃か掘り出され寺に納められたと考えられるが伝来の詳細は明らかではない。

誕生釈迦仏は、通例として右手を挙げて天を指し、左手を下げて地を指す姿で「天上天下唯我独尊」と唱えたという誕生時のエピソードに基づいて作られるが、本像はその両手が通例の逆の姿をとるものである。

熊谷市内には、発掘調査の成果等から少なくとも8世紀初頭の奈良時代から仏教の浸透があり、礼拝のための仏像も多く制作されたものと考えられるが、現在のところ当該時代に遡る仏像は埼玉県内でもほとんど確認されていない。このような状

況の下、本像は熊谷市の古代の歴史を解明する手がかりはもとより、仏教文化の熊谷市への伝播について考える上でも貴重なものであり、また、北関東地域への金銅仏の浸透と普及の実態を窺わせる点においても貴重なものである。

以上のことから、熊谷市文化財保護条例第6条第1項及び第4項の規定に基づき、市指定有形文化財・彫刻として指定をすることが適当とされる。

(議案は原案どおり可決)

日程第2 (議案第12号) 非公開

(議案は原案どおり可決)

日程第1 (報告第3-8号) 非公開

(その他) 後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和7年1月16日から令和7年2月15日までに後援等承認決定した事業が9件あったとの報告があった。

日程第2 (議案第13号及び議案第14号) 非公開

(議案は原案どおり可決)

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和7年3月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時50分 閉会)

署名

教育長 野原 晃

委員 大石 聡一